

- 回転比の微妙な調整が可能です。

独特のピッチ径調整機構により、調整範囲が広く、しかもスライドピースの1/4回転ごとにセットできるため、微妙なスピード設定が可能です。

- 簡単・確実。

ピッチ径の調整は、止めねじをゆるめ、スライドピースを所定の回し回数だけ回し、再び止めねじを締めつけるだけです。シンプルな構造、しかも精密な加工。微小振動・ショックロードに対しても、がたつきを起こすことはありません。

- 従動側プーリーにはNBK標準品が利用できます。

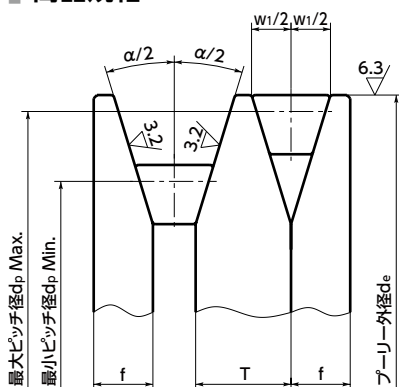
従動側にはJIS Vプーリー・インメック®SPプーリー・標準Vプーリーをご使用ください。伝動設計に必要なあらゆる組み合わせが標準品から自由に選択できます。

- 軸穴完成品です。

すべて軸穴完成品。軸穴は寸法許容差G7、キー溝は新JIS平行キー溝で加工済み。モータ軸端にそのまま取りつけ可能です。



## 商品規格



- 溝部の寸法

単位: mm

溝の形	$\alpha / 2 \pm 0.5$ (°)	$w_1 / 2 \pm 0.2$	f	T
A	17	6	9	14.5
B	17	8	11	19

- 振れの許容値

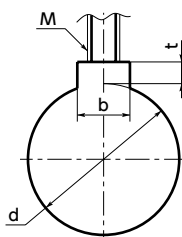
外周の振れ ———— 0.30mm  
リム側面の振れ ———— 0.40mm

- 材質・仕上げ



	変速プーリー
本体	FC200以上 JIS G 5501「ねずみ鋳鉄品」

- 軸穴・キー溝の寸法許容差



単位: mm

軸穴径 d	キー溝				キー 呼び寸法 b×h	押しねじ M
	基準 寸法	許容差 (G7)	基準 寸法	許容差 (JS9)		
14	5	$\pm 0.0150$	2.3	$\begin{matrix} +0.1 \\ 0 \end{matrix}$	5×5	1 - M8
19	6	$\pm 0.0150$	2.8	$\begin{matrix} +0.1 \\ 0 \end{matrix}$	6×6	1 - M8
24	8	$\pm 0.0180$	3.3	$\begin{matrix} +0.2 \\ 0 \end{matrix}$	8×7	1 - M8
28	8	$\pm 0.0180$	3.3	$\begin{matrix} +0.2 \\ 0 \end{matrix}$	8×7	1 - M8
38	10	$\pm 0.0180$	3.3	$\begin{matrix} +0.2 \\ 0 \end{matrix}$	10×8	1 - M8

- 関連商品

プーリーV溝部の摩耗を確認するためのゲージがあります。プーリーのメンテナンスの際に、ご利用ください。

